

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	企画宣伝課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	来場促進キャンペーン等運営委託事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇ファン及び一般を対象に
手 段	SGレース、GIレース等の宣伝キャンペーン、全国公募クイズ等の運営管理を委託することにより
想定する成果	主要レースの周知と来場者の促進、売上の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
SGレースキャンペーン	「SG第48回モーターボート記念競走」のキャンペーンを全国20競艇場で実施。	「SG第8回オーシャンカップ競走」のキャンペーンを全国20競艇場と「名古屋ドーム」で実施。	「SG第50回モーターボート記念競走」のキャンペーンを全国21競艇場と18ボートピアで実施。
GIレース等キャンペーン	「GI開設47周年記念競走」のキャンペーンを東海地区3場で実施。	「GI開設48周年記念競走」、「GI東海地区選手権競走」、「2003Xマス&FINALナイター」のキャンペーンを東海地区3場で実施。	「GI開設49周年記念競走」、「2004Xマス&FINALナイター」のキャンペーンを東海地区3場で実施。
SG競走売上	22,639,864千円	20,973,663千円	19,100,000千円
GI周年競走売上	8,717,534千円	6,452,991千円	6,619,555千円
Xマス&FINALナイター売上	-	1,865,060千円	-
GI東海地区選手権競走売上	-	3,209,300千円	-

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	SG来場促進キャンペーン等運営委託事業支出率	SG競走1日当たりの売上
成果指標の説明	SG来場促進キャンペーン等運営委託事業費/SG売上×100	SG競走売上/SG開催日数

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標	計画	-	-	0.09%
	実績	0.13%	0.07%	-
成果指標	計画	-	-	3,183,333
	実績	3,773,311	3,495,611	-
事業費	事業費	28,643	15,652	19,178
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	30,296	17,275	20,849
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	30,296	17,275	20,849

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	SG、GIレース、冬季ナイター開催を広くファンに周知するためのPRだが、入場者増と売上増にどれだけ貢献しているかが明確ではない。
経済効率性	1	1	各競艇場で競艇ファンに蒲郡競艇及び主要レースの周知をすることができるが、売上増への貢献度は明確ではない。
事務効率性	2	2	業者委託により、キャンペーン業務の効率化に努力している。
必要性	2	2	SGレースでは、全国各場で、GIレースでは東海地区3場での開催告知キャンペーンを行い、レースの周知と盛り上げが必要である。また、中央団体へ示す実績としても必要性がある。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民参加はないが、競艇ファンにはアピールする事業である。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	本場の売上、来場者が減少している中で、来場促進キャンペーンは重要な業務であり、工夫をした施策の展開が必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

SGオーシャンカップ競走キャンペーンでは、ドリーム戦勝者当てクイズ、SG出場選手からの直筆暑中見舞プレゼントなど話題性のある事業を展開し、ファンの注目を集めるように工夫した。
「2003 Xマス&FINALナイター」と「GI東海地区選手権競走」の東海地区3場でのキャンペーンは、業者委託をせず、競艇事業部他課職員の応援を得て行うなど経費節減に努めている。
蒲郡市観光協会とタイアップした来賓招待の企画について15年度から開始した。

⑧今後改善すべき点

SG競走は、全国各場のファンへの周知、中央団体への実績を示す意味でも全国展開が必要な面はあるが、インターネット、携帯電話、レジャーチャンネルなど様々な媒体がある中で、いつまでも現地に職員及び委託業者等を派遣し、どこの場も行うようなキャンペーンを実施する意味があるのか検討が必要であり、蒲郡競艇独自の事業を工夫する必要がある。
17年度はSG競走がないため、全国的なキャンペーンは実施できないが、東海地区3場や近隣駅でのキャンペーン、観光協会や企業と提携したキャンペーンなどを考える必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

17年度は、SG競走がなく全国展開のキャンペーンが必要ないため、関連経費を計上しない。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	企画宣伝課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	看板広告事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇に関心のある人及び広く一般の人に
手 段	蒲郡競艇場内外に看板及び宣伝のぼりを掲出し
想定する成果	開催日程、蒲郡競艇への道順などを周知する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
看板設置数	駅看板33、野立看板8、電柱袖62、競艇場内3	駅看板32、野立看板16、電柱袖39、競艇場内3	駅看板31、野立看板24、電柱袖62、競艇場内2
のぼり、装飾ツール	SG、GIレースで場内及び入場門付近、三河塩津駅から競艇場までの経路に掲出		
年間総入場者数	1,202,588人	1,083,418人	1,003,000人

④成果指標

成果指標名	①	②
	看板設置数	入場者1人当たりの看板広告事業費
成果指標の説明	看板設置数	看板広告事業費/入場者数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	駅看板31、野立看板24、電柱袖62、競艇場内2
	実績	駅看板33、野立看板8、電柱袖62、競艇場内3	駅看板32、野立看板16、電柱袖39、競艇場内3	-
成果指標 ②	計画	-	-	52.5円
	実績	49.3円	58.2円	-
事業費	事業費	56,822	60,604	50,134
	人件費	2,479	2,435	2,506
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	59,301	63,039	52,640
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	59,301	63,039	52,640

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	場内日程、駅看板、野立看板などで開催日程の周知をし、道路看板で道案内を示す目標はほぼ達成している。
経済効率性	2	2	多くの人に開催日程、道順を示すことができると共に蒲郡競艇のPRができる。
事務効率性	2	2	開催日程については、タイムリーな日程広告ができるよう業者に指示している。
必要性	3	3	開催日程、車利用者への道案内を示す看板は、必要性が高い。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	1	1	競艇ファンへのサービスであり、市民全般ではなく特定ファンへのサービスである。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	場内日程、駅看板、野立看板などで開催日程の周知をし、道路看板で道案内を示す目標はほぼ達成しているが、道案内看板の充実が必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

15年度は、蒲郡競艇までの道路案内を示す野立看板を整備した。また、電柱袖看板の見づらいものについては、平成15年度で見直しを行い、16年度から変更した。

⑧今後改善すべき点

16年度から「地下鉄名古屋ドーム前・矢田駅の電飾看板」「場内の次節出場選手看板」、「場内日程看板の1つ」、「JR春日井駅看板」を廃止し、経費節減に努めた。今後も、適切な場所と分かりやすい看板への見直しに努める。
16年度、SG、GI競走での場内装飾等の経費を約半減にしている。
蒲郡競艇のイメージ看板（特に駅看板）から交通案内看板や日程看板への切り替えを進める。

⑨平成17年度予算に反映する項目

交通案内看板1ヶ所を新設する予算を計上する。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	企画宣伝課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	ポスター広告事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	競艇に関心のある人及び広く一般の人に
手 段	蒲郡競艇でのレース日程等を掲載したレギュラーポスター(SG、GI等特別競走を除く)を作製し掲示することで
想定する成果	蒲郡競艇の情報を提供し、来場促進と売上向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
レギュラーポスター年間印刷数	B1、B2、B3サイズ合計 14,670枚	B1、B2、B3サイズ合計 14,670枚	B1、B2、B3サイズ合計 14,670枚
レギュラーポスターの内容	ナイターレース：競艇選手あいうえお作文シリーズ、デイレース：あなたも競艇体験してみませんかシリーズ	ナイターレース：ゲゲゲの鬼太郎シリーズ、デイレース：トトまるを探せシリーズ	ナイターレース：銀河鉄道999シリーズ
掲出場所	JR主要駅、JR東海道本線車内吊り、遠州鉄道各駅、遠州鉄道バス営業所、豊橋鉄道市内線、豊橋鉄道渥美線、蒲郡市内理容店、名古屋鉄道榎戸駅、蒲郡競艇場内、近隣無料掲出者	JR主要駅、JR東海道本線車内吊り、遠州鉄道各駅、遠州鉄道バス営業所、豊橋鉄道市内線、豊橋鉄道渥美線、蒲郡市内理容店、名古屋鉄道榎戸駅・常滑駅、蒲郡競艇場内、近隣無料掲出者	JR主要駅、JR東海道本線車内吊り、豊橋鉄道市内線、蒲郡市内理容店、名古屋鉄道常滑駅、蒲郡競艇場内、近隣無料掲出者
蒲郡競艇入場者数	1,202,588人	1,083,418人	1,003,000人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	入場者1人当たりのポスター広告事業費	ポスター1枚当たりの経費
	ポスター広告事業費/入場者数	ポスター広告事業費/ポスター作製枚数

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	-	-	41.8円
	実績	50.6円	51.9円	-
成果指標②	計画	-	-	2,856.2円
	実績	4,144.0円	3,831.8円	-
事業費	事業費	58,313	53,777	39,394
	人件費	2,479	2,435	2,506
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	60,792	56,212	41,900
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	60,792	56,212	41,900

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	レギュラーポスターは、競艇ファンが蒲郡競艇のイメージとして最も注目する媒体の1つであり、より良いものを制作するように努力している。
経済効率性	2	2	主要駅、列車内貼り等で不特定多数に蒲郡競艇開催等について告知している。
事務効率性	2	2	コンペ方式でポスターの選定を行い、より良いものを制作するように努力している。
必要性	3	3	蒲郡競艇のレース、開催日程等を周知し、ファンの関心を高め売上向上に結びつけるために必要な事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	制作については、市民参加の事業ではないが、クイズ形式のポスターを作製するなどし、競艇ファンの注目を高める努力をしている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	レギュラーポスターは、開催日程の告知だけでなく、既存の競艇ファンと新規ファンに蒲郡競艇のイメージを印象付ける重要な役割を持っている。ファン層の競合する常滑、浜名湖競艇に負けないポスターの制作が求められており、一層の努力が必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

15年度ナイターレースのポスターには、「ゲゲゲの鬼太郎」シリーズを採用し、デイレースのポスターには「トトまるを探せ」を採用するなど魅力のあるポスターを制作するように努めている。
掲出については、14年度に比べ、東海道本線中吊り、JR主要駅貼りの数を減らし、節減に努めた。

⑧今後改善すべき点

16年度は、遠州鉄道各駅、遠州鉄道バス営業所、豊橋鉄道市内線、豊橋鉄道渥美線の掲示をやめ、JR東海道線車内吊りについても掲示枚数・期間を削減し、経費節減に努めている。
ポスター印刷枚数について削減する。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

ポスターの制作は、デザイン、センスなどの感性が必要であり、そういった人材の配置について考慮が必要と考える。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	企画宣伝課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	電波広告事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け 基本目標

	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇に関心のある人及び広く多くの人に
手 段	テレビ・ラジオ・日本レジャーチャンネル(JLC)を利用し、開催日程、レース結果、レースの実況中継などの情報を提供することにより、
想定する成果	ファンの来場促進、売上向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
テレビ広告等 の実績	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、東海テレビスーパーニュース、中京テレビニュースプラス1、テレビ愛知ポータルタイム、静岡放送レースガイド、テレビ愛知レースガイド、静岡放送レース告知、名古屋テレビレース告知、三河湾ケーブルネットワークレース中継、スターキャットケーブルネットワーク、豊橋ケーブルネットワークレース中継、市政ビデオニュース	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、東海テレビスーパーニュース、中京テレビニュースプラス1、静岡放送レース告知、名古屋テレビレース告知、三河湾ケーブルネットワークレース中継、スターキャットケーブルネットワーク、豊橋ケーブルネットワークレース中継、市政ビデオニュース	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、東海テレビスーパーニュース、中京テレビニュースプラス1、静岡放送レース告知、名古屋テレビレース告知、三河湾ケーブルネットワークレース中継、豊橋ケーブルネットワークレース中継
ラジオ広告等 実績	CBCラジオレースガイド、CBCラジオ結果速報、東海ラジオレースガイド、東海ラジオレース結果、静岡放送レースガイド	CBCラジオレースガイド、CBCラジオ結果速報、東海ラジオレースガイド、東海ラジオレース結果、静岡放送レースガイド	CBCラジオ結果速報、東海ラジオレース結果
JLC主な実績	ナイターレース中継80日、ピットレポート43回	ナイターレース中継90日、展望番組39回、ピットレポート42回	ナイターレース中継100日、展望番組37回、ピットレポート69回
売上額	79,153,469,900円	71,869,283,200円	64,575,000,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	電波広告事業費1円当たりの売上額	
成果指標の説明	売上額/電波広告事業費	

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	248.4円
	実績	239.2円	271.0円	-
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	326,786	261,139	255,772
	人件費	4,132	4,059	4,177
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	330,918	265,198	259,949
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他 一般財源	330,918	265,198	259,949

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	テレビCMについては、以前のタレントを起用したのからマスコットキャラクターの「トトまる」を利用したものに変更をし定着している。経費面でも節減でき、蒲郡競艇のイメージを高めるために貢献している。JLCでのナイターレース中継、ピットレポート（レース直前の選手情報）、展望番組は、電話投票会員にとってタイムリーな情報を提供しており、達成度は高い。
経済効率性	2	2	テレビ、ラジオとも不特定多数に蒲郡競艇のPRをすることができる。また、電話投票会員向のJLCピットレポートは、会員から好評である。
事務効率性	2	2	蒲郡競艇のイメージをよりアップさせるCMの制作、電話投票会員の獲得のための情報発信などに工夫を凝らしている。
必要性	3	3	テレビCMについては、蒲郡競艇のイメージを高め、ファンにPRするために必要である。また、JLCの中継、ピットレポート、展望番組は、電話投票会員への情報提供を行い、売上確保のために必要な事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民参加の事業ではないが、電話投票会員の関心は高いと推測できる。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	テレビCMの予算は削減を行っているが、蒲郡競艇のイメージを高め、多くの人に関心を持たせる意味からも必要なものである。キャラクター「トトまる」を使ったCMは、多くの人に親しまれるものとなっている。また、電話投票会員向けのJLC関係の番組も舟券購入に結びつくような情報を提供している。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<p>15年度にテレビ愛知のポートタイム、レースガイド、CBCテレビの野球ナイター延長時のスポット、名古屋テレビのフリースポットを取りやめ、経費節減に努めた。JLC関係では、一般戦の勝利者インタビューをやめ、電話投票会員向けのピットレポートを制作するようにした。</p> <p>15年度競艇界で初めて実施した冬季ナイターのCMでは、今までにない若者やカップル向けの内容とし、制作に工夫を凝らしている。</p>
--

⑧今後改善すべき点

<p>16年度からは、SBS静岡放送のフリースポット、CATV4局でのダイジェスト放映、市政ビデオニュース、CBCラジオ、東海ラジオのレースガイドを取りやめ経費節減に努めている。</p> <p>JLCのピットレポートについては、売上に対する経費を考え、制作するレースについての精査を行う。</p> <p>テレビCMの制作を必要最小限の回数にとどめ、既存のもので評判の良いフィルムを使い回す。</p>

⑨平成17年度予算に反映する項目

<p>上記⑧の内容のうち、CBCラジオ、東海ラジオのレースガイド分について予算計上しない。</p>

⑩組織、人員に関する提言

<p>テレビCMの制作については、個人の技量、感性による点も考慮した人材の配置が望ましい。</p>

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	企画宣伝課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	ファンクラブ運営・管理事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡競艇有料ファンクラブ会員に
手 段	魅力ある事業を実施することにより
想定する成果	会員(蒲郡競艇の恒常的なファン)を増やし、売上向上に結びつける。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
ファンクラブ 会員数	1,504人	1,449人	1,450人
主な事業	お誕生日プレゼント、SG、GI場間場外時のお楽しみ抽選会、他競艇場観戦ツアー	お誕生日プレゼント、SG、GI場間場外時のお楽しみ抽選会、他競艇場観戦ツアー	お誕生日プレゼント、SG、GI場間場外時のお楽しみ抽選会、他競艇場観戦ツアー

④成果指標

成果指標名	①	②
	ファンクラブ会員数	ファンクラブ会員1人当たりの事業費
成果指標の説明	ファンクラブ会員数	ファンクラブ運営・管理事業費/ファンクラブ会員数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	1,450人
	実績	1,504人	1,449人	-
成果指標 ②	計画	-	-	5,934.5円
	実績	7,182.8円	7,286.4円	-
事業費	事業費	9,150	8,935	6,934
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	10,803	10,558	8,605
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,803	10,558	8,605

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	年会費5,000円の有料ファンクラブであるが、全国24競艇場の中でもトップクラスの毎年約1,500人の会員を維持している点は、高く評価できる。
経済効率性	2	2	5,000円の年会費を超えるファンサービス、特典をつけており、経済効率性は高くないが、他競艇場への観戦ツアーでは参加負担金を徴収するなどの努力をしている。
事務効率性	2	2	SG競走、全国一斉発売のG I レース場間場外発売日の土、日曜日に行う「ファンクラブ会員お楽しみ抽選会」の案内はがき発送、会員名簿の更新などに時間がかかる。
必要性	3	3	蒲郡競艇の恒常的なファンを増やし、売上向上に結びつけるために必要な事業である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	競艇ファンへのサービスであり、市民全般ではなく特定ファンへのサービスである。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	蒲郡競艇の恒常的なファンを維持するために必要な事業であり、会員数の増加が必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

会員へのお誕生日プレゼント（定価5,000円相当、会員の誕生日に送付）を蒲郡競艇オリジナルの品物を作るなど工夫すると共に、競艇場ピット見学会など会員に喜ばれる事業を行っている。

⑧今後改善すべき点

会員向けに年2回発行している情報誌「ウインド」の印刷経費が、部数が1,500部と限られていることから割高であり、経費節減について検討が必要である。
会員へのお誕生日プレゼントの品物として、市内企業の特産物を入れるなど地元企業とのタイアップも検討をする。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	企画宣伝課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	ポスター及びパンフレット制作事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	------------------	-----	----

②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇に関心のある人に
手段	SG、GI、冬季ナイターレースなど蒲郡競艇で開催する主要レースのポスター、パンフレット等を作成し、掲示及び配布することにより
想定する成果	主要レースの日程、イベント、出場選手の情報を提供し、SG、GI、冬季ナイターレースの売上向上を図る。

③事業の概要

項目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
主なポスター制作実績	SGモーターボート記念競走2,720枚、GI開設47周年記念競走3,050枚	SGオーシャンカップ競走2,920枚、GI開設48周年記念競走2,200枚、GI東海地区選手権競走1,750枚、2003Xマス&FINALナイター1,630枚	SGモーターボート記念競走3,050枚、GI開設49周年記念競走2,300枚、2004Xマス&FINALナイター1,400枚
SGポスターの掲出実績	全国各競艇場、ボートピア、JR東海道線・中央線車内吊り、JR主要駅貼り、近鉄名古屋本線車内吊り、JR名古屋駅コンコース集中貼り、JR山手線、大阪市営地下鉄、九州地区及び神戸高速鉄道等	全国各競艇場、ボートピア、JR東海道線・中央線車内吊り、JR主要駅貼り、近鉄名古屋本線車内吊り、JR名古屋駅コンコース集中貼り、JR山手線、大阪市営地下鉄、九州地区及び神戸高速鉄道等	全国各競艇場、ボートピア、JR東海道線・中央線車内吊り、JR主要駅貼り、近鉄名古屋本線車内吊り、JR名古屋駅コンコース集中貼り、JR山手線、大阪市営地下鉄、九州地区及び神戸高速鉄道等
主なパンフレット制作実績	SGモーターボート記念競走130,000部、GI開設47周年記念競走60,000部	SGオーシャンカップ競走130,000部、GI開設48周年記念競走125,000部(1回目、2回目号外の計)、GI東海地区選手権競走31,500部	SGモーターボート記念競走140,000部、GI開設49周年記念競走60,000部
SG本場入場者数	66,326人	62,989人	60,000人
GI周年本場入場者数	55,926人	49,690人	41,934人
GI東海地区選手権本場入場者数	-	43,184人	-
Xマスナイター本場入場者数	-	22,798人	21,000人
上記4競走の合計入場者数	122,252人	178,661人	122,934人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	本場入場者者1人当たりのポスター、パンフレット制作事業費	ポスター、パンフレット1部当たりの経費
成果指標の説明	ポスター、パンフレット制作事業費/本場入場者数	ポスター、パンフレット制作事業費/ポスター、パンフレットの制作数

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	-	-	348.9円
	実績	467.1円	309.3円	-
成果指標②	計画	-	-	207.4円
	実績	291.7円	187.3円	-
事業費	事業費	56,280	54,445	42,055
	人件費	826	812	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	57,106	55,257	42,890
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	57,106	55,257	42,890

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	SG、GIのポスター、パンフレットともファンにアピールするものを制作している。
経済効率性	2	2	全国各地の競艇ファンに主要レースの日程、出場選手等を告知し、購買意欲を高めることができる。
事務効率性	2	2	コンペ方式でポスターの選定を行い、より良いポスター、パンフレットの制作に努力している。
必要性	3	3	蒲郡競艇で開催するSG競走、GI競走など主要レースの内容、ファンサービスを周知し、ファンの関心を高め売上向上に結びつけるために必要な事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民参加の事業ではないが、競艇ファンには関心の高い事業である。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	SG、GIのポスター、パンフレット、クリスマスナイターのポスターともファンにアピールし、蒲郡競艇のイメージ向上と開催日程等の周知を十分行うものを制作しているが、今後とも他場に負けないものを作ることが求められる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

SG、GIレース、クリスマスナイターともポスターについて、6社による企画コンペを行い、採用作品を決定しており、限られた予算でよりよいものを作る努力をしている。
15年度から、ペア宿泊券プレゼントを提供していただいた蒲郡市観光協会やホテル、旅館の写真をポスターやパンフレットに掲載し、市内の旅館・ホテルも全国にPRしている。

⑧今後改善すべき点

ポスター、パンフレットとも印刷枚数の精査を行い経費削減に努める。
16年度SGモーターボート記念競走のパンフレットには、地元の協賛企業を募集し、企業名を掲載することで全国へのPRも行っている。
競艇ファンは、高齢者層も多いため、見やすく、分かりやすいデザインに努める。

⑨平成17年度予算に反映する項目

17年度はSG競走がないため、関連経費の予算を計上しない。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	企画宣伝課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	イベント等開催委託事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	E(なし)

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇に関心のある人及び広く一般の人に
手 段	蒲郡競艇場内でイベントを開催し
想定する成果	蒲郡競艇への来場を促進し、売上の向上をはかる。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
SG、G I 競走 での主なイベント	加藤茶&小野ヤスシトークショー (SG第48回モーターボート記念競走) 味唯歌謡ショー(G I 開設47周年記念競走)	前川清歌謡ショー (SG第8回オーシャンカップ) 山本リンダ歌謡ショー (G I 開設48周年記念競走)	みずき舞歌謡ショー(SG第50回モーターボート記念競走)
主なイベント	ナイターレース花火打上げ、チビッコ縁日、トトまるランド、キャラクターショー、ナイターミニイベント(歌謡ショーなど)、有名選手トークショー	ナイターレース花火打上げ、チビッコ縁日、トトまるランド、キャラクターショー、ナイターミニイベント(歌謡ショーなど)、有名選手トークショー	ナイターレース花火打上げ、チビッコ縁日、トトまるランド、キャラクターショー、ナイターミニイベント(歌謡ショーなど)、有名選手トークショー、Gガール(ラウンドガール)撮影会
年間入場者数	1,202,588人	1,083,418人	1,003,000人

④成果指標

成果指標名	① 入場者1人当たりのイベント開催経費	②
成果指標の説明	イベント等開催経費/年間入場者数	

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	-	-	36.2円
	実績	40.5円	41.8円	-
成果指標②	計画			
	実績			
事業費	事業費	45,381	42,078	33,013
	人件費	3,305	3,247	3,341
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	48,686	45,325	36,354
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	48,686	45,325	36,354

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	常連のファンからファミリー向けまで様々なイベントを行っているが、それが入場者と売上の増加に結びついていないかが明確ではない。
経済効率性	2	2	有名歌手の歌謡ショーなどが、SG、GI開会式の定番となっているが、それが売上向上に直接結びつかない面がある。
事務効率性	2	2	企画・実施したイベントは、いずれもファンの好評を得ている。
必要性	2	2	本場の入場者の増、新規ファンの獲得のためにイベントは必要な事業であるが、入場者増、売上増に結びつく事業が必要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	歌謡ショー、キャラクターショーなどは、競艇ファンだけでなく、市民の入場も多い。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	本場入場者数が減少する中で、本場の活気を盛り上げ、売上向上に結びつけるイベントの開催が必要である。少ない経費でより効果的な事業の展開に努力する。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<p>正月に行っていた「新春の寿ぎ」を15年度から中止し、ナイターレース期間中の花火打上げの縮小を経費節減の面から行った。また、競艇界初の冬季ナイター「2003Xマス&FINALナイター」の実施に伴い、若いファン層、女性ファン層を開拓する目的で来賓席での「カップルパーティー」「ゴスペルコンサート」など新しい企画を行い、全国的にも注目を集めた。「全国ラーメン屋台」など食に関係するイベントも取り入れ、好評を得た。また、ファンに人気の高い競艇選手を招いての「トークショー」をタイムリーに行うなど工夫をしている。</p>
--

⑧今後改善すべき点

<p>GIレースの開会式後に行っている歌謡ショー（約4,000千円）は、開会式時の入場者増には結びつくが、経費の割りに売上増に結びつかないため16年度から取りやめた。 また、16年度からオレンジホールのミニイベント、トトまるランド、ちびっこ縁日などの開催日数を大幅に削減している。 15年度ナイターレース期間中全節で行っていた花火打上げは、16年度から3節のみとし、経費削減に努めた。今後、さらに削減を考える。 ファミリー向けイベントとして定着しているトトまるランド、チビッコ縁日は、マンネリ化の傾向があり、新しい企画の検討が必要である。 16年度競艇界初のラウンドガール（Gガール）のイベントを組み、話題性をアップする企画を行っている。</p>

⑨平成17年度予算に反映する項目

<p>17年度はSG開催がないため、歌謡ショーなどSG関連経費は予算計上しない。 花火打上げ、ナイターレース、ミニイベント等の経費を削減する。</p>

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載